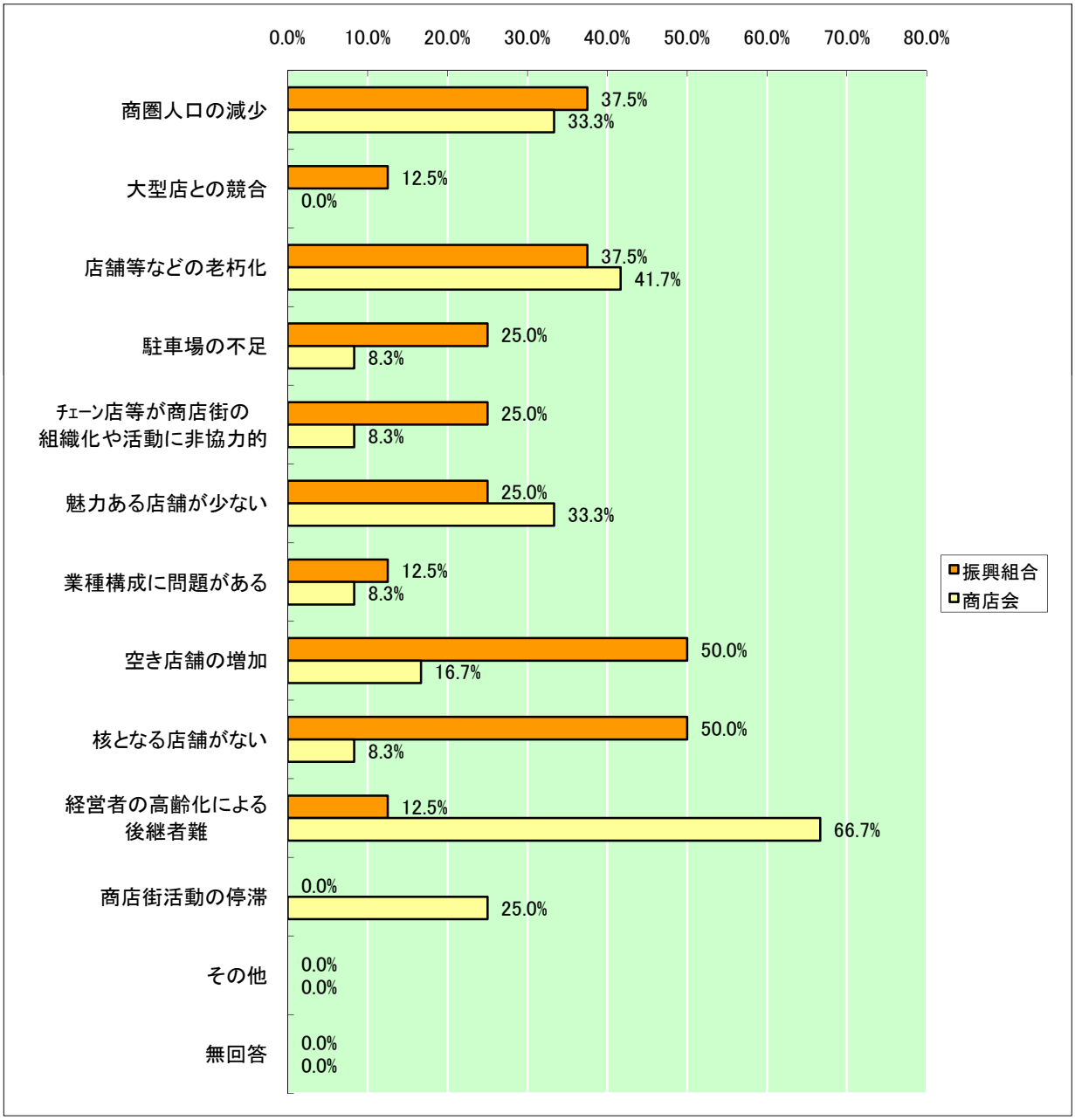
Ⅲ．商店街の問題と取り組み

1．商店街が抱えている問題点

■ 振興組合が抱えている問題点については、「空き店舗の増加」(50.0%)、「核となる店舗がない」(50.0%) が最も多く、「商圏人口の減少」(37.5%)、「店舗等の老朽化」(37.5%) となっている。半数を超える回答はなく、それぞれの振興組合が抱える問題点に違いが出ている。

□ 商店会では、「経営者の高齢化による後継者難」(66.7%) が最も多く、商店会が抱える共通した問題点となっている。(図21)

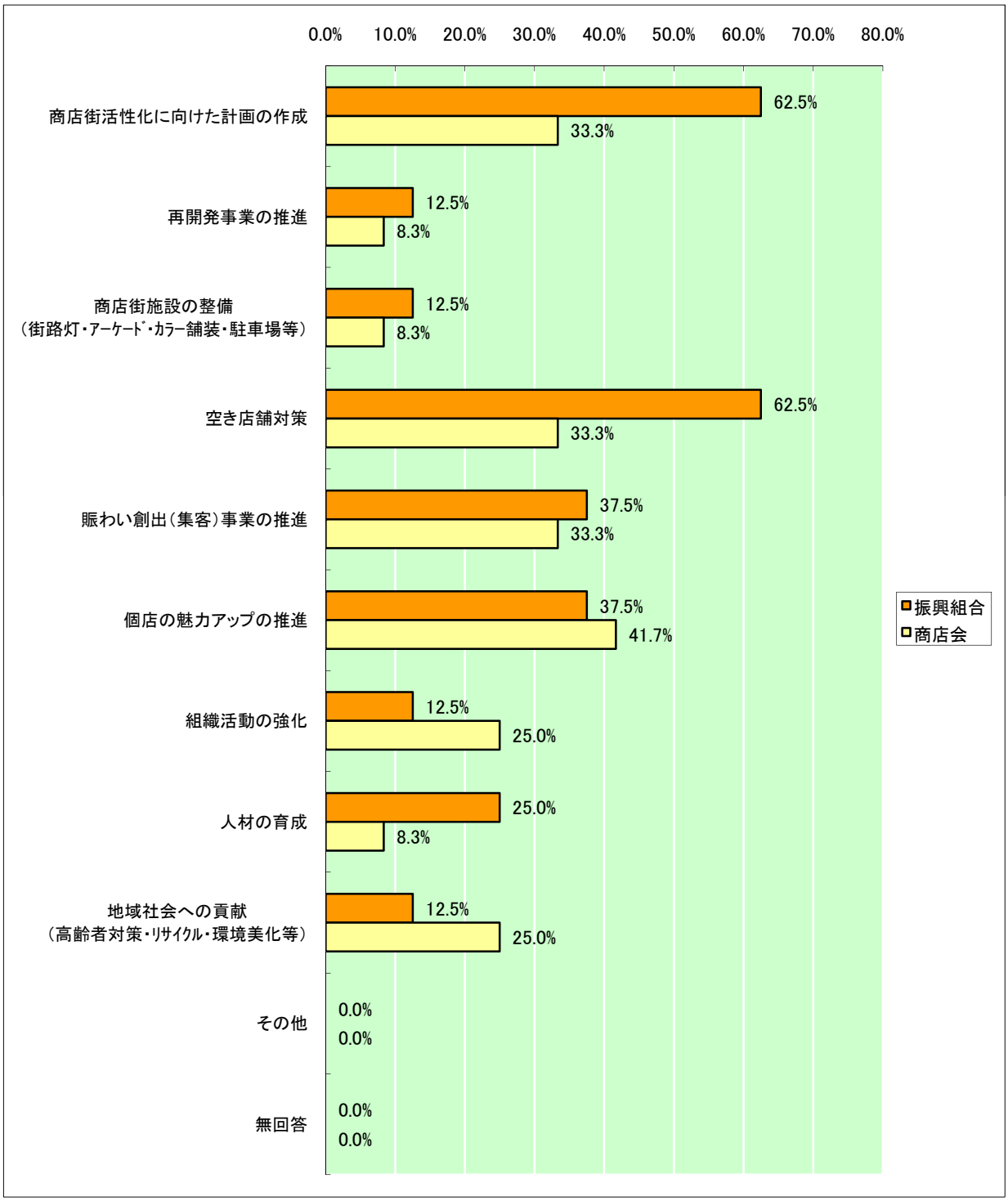
「図21　商店街が抱えている問題点（複数回答）」（H22年度：振興組合N＝8：商店会N＝12）



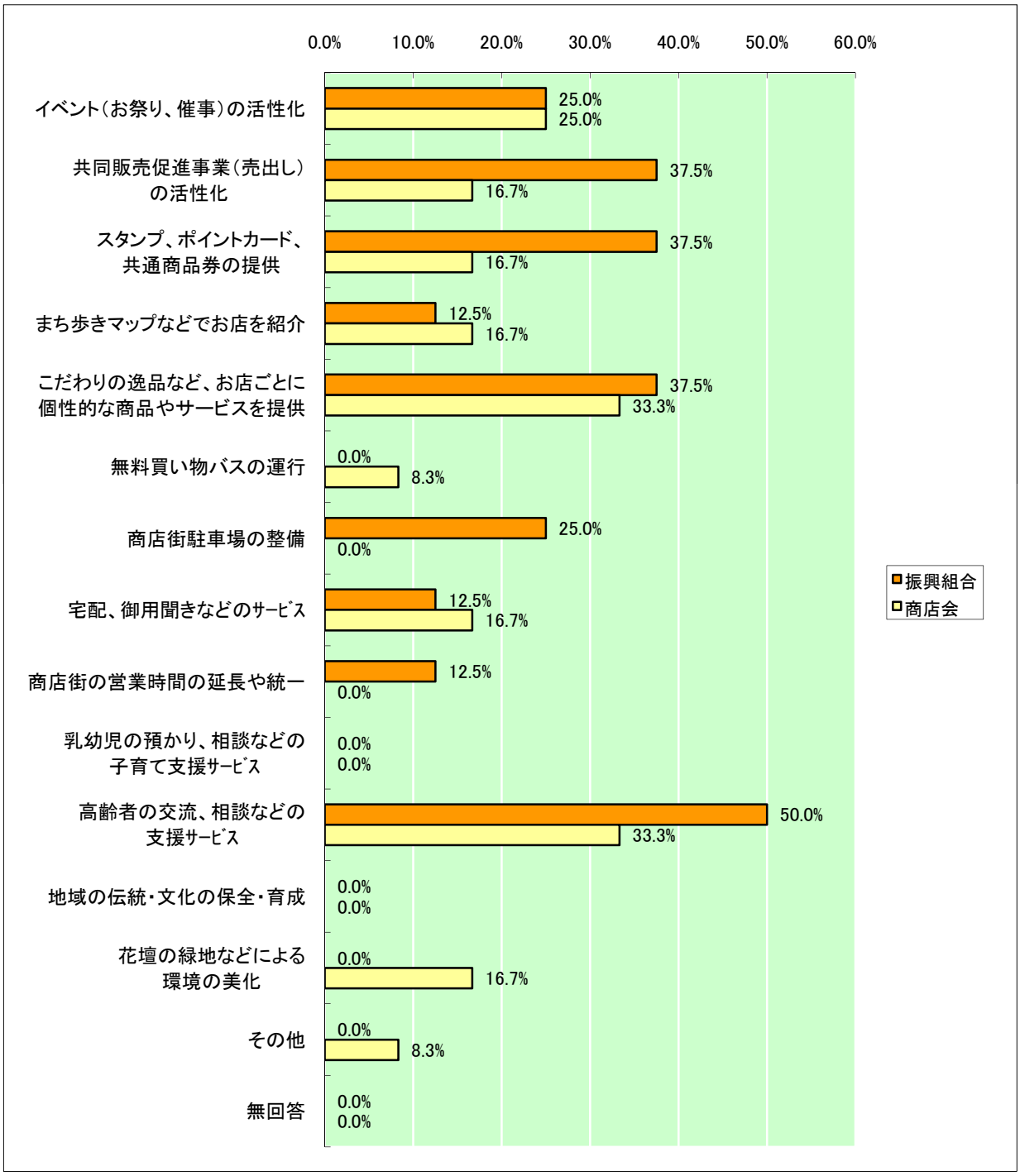
2. 商店街の今後の取り組み

■ 振興組合を魅力的にしていくための今後の取り組みについては、「商店街活性化に向けた計画の作成」(62.5%)、「空き店舗対策」(62.5%) が最も多く、次いで 「賑わい創出(集客)事業の推進」(37.5%)、「個店の魅力アップの推進」(37.5%)、「人材の育成」(25.0%) となっている。
中でも、Ⅲの1の設問の回答にもみられるように、空き店舗の解消は振興組合にとって大きな課題となっている。(図22)

「図22 商店街の今後の取り組み(複数回答)」(H22年度:振興組合N=8:商店会N=12)



3. 商店街の活性化に必要なサービス

■ 振興組合の活性化に必要なサービスについては、「高齢者の交流、相談などの支援サービス」(50.0%) が最も多く、次いで 「共同販売促進事業(売出し)の活性化」(37.5%)、「スタンプ、ポイントカード、共通商品券の提供」(37.5%)、「こだわりの逸品など、お店ごとに個性的な商品やサービスを提供」(37.5%)、「イベント(お祭り、催事)の活性化」(25.0%)、「駐車場の整備」(25.0%) となっている。半数を超える回答はなく、それぞれの振興組合で必要なサービスに違いが出ている。(図23)

「図23 商店街の活性化に必要なサービス(複数回答)」(H22年度:振興組合N=8:商店会N=12)